

# 教職カルテ

福知山公立大学

情報学部情報学科  
2026年度入学生用

学籍番号		氏名	
取得希望免許状	希望の有無*	取得希望免許状の学校種・種類・教科	
		中学校教諭一種免許状（数学）	
		高等学校教諭一種免許状（数学）	
		高等学校教諭一種免許状（情報）	

\* 取得希望の免許状の学校種・種類・教科について該当する欄に○を付すこと。

## 教職カルテと教職実践演習の履修

教職課程の他の授業科目の履修や教職課程外での様々な活動を通じて、学生が身に付けた資質や能力が、教員として求められる力に有機的に統合され、形成されたかについて、本学が養成する教員像や教職課程の到達目標にも照らして最終的な確認がなされることが求められます。

4年次配当の科目「教職実践演習」は、学生が自らこの確認を行う「学びの集大成」に位置付けられます。4年間を通した学びの記録「教職カルテ」をもとに、将来、教員になる上で、自分自身にとって何が課題であるのかを自覚し、必要に応じて不足している知識や技能などを補い、その定着をはかることを目指します。

---

「教職カルテ」は、教職課程の履修指導の一環として使用するものです。このカルテを通じて、知り得た履修生の個人情報をも他の目的に使用することはありません。

## 1 「教職カルテ」の趣旨

教職履修カルテは、学生一人ひとりが4年間に教職に関わってどのような学びを行ってきたか、何を課題とするのかを、自ら確認するために作成します。

## 2 「教職実践演習」の趣旨

教職実践演習は全学年を通じた「学びの軌跡の集大成」として位置付けられる科目です。教員を目指す学生はこの科目の履修を通じて、将来、教員になる上で、自己にとって何が課題であるのかを自覚し、必要に応じて不足している知識や技能などを補い、その定着を図ることにより、将来の教員としての生活をより円滑にスタートできるようになることが期待されます。

教職カルテを参考に、これまでの「教職関連科目の履修状況」や「ボランティア等の教職に関連する活動の記録」とともに、特に、次の4つの事項について、教員としての資質や能力を自ら確認していきます。

- ① 使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項
- ② 社会性や対人関係能力に関する事項
- ③ 生徒の理解や学級経営等に関する事項
- ④ 教科等の指導力に関する事項

## 3 「教職カルテ」の構成・記入方法

### (1) 構成

「教職カルテ」は、「教職関連科目の単位修得状況」と「自己評価シート」の2部から構成されています。

「教職関連科目の単位修得状況」：「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」、「教科及び指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目」の単位修得状況と教員のコメント及び個人面談等の記録を含んでいます。

「自己評価シート」：「必要な資質能力についての自己評価」、「教職を目指す上で課題と考えている事項」、「教職に関連する学外実習（教師塾等）・ボランティア経験等の状況」から構成されています。自己評価シートは各自が記載するものです。

### (2) 目的

「教職カルテ」は、自己評価として活用します。また、2年次以降の各年次の終了時と4年次後期の「教職実践演習」の履修時に担当教員が指導の参考として利用します。

### (3) 記入方法

記入の時期は2・3年次の各学期の終了時と4年次の前期終了時とします。記入の期限や記載上の諸注意については、適宜、事務局の担当者から連絡を行います。

### (4) その他

各自の課題については、担当教員に相談をし、できるかぎり早期に克服するように努めてください。

## 教職関連科目の単位修得状況

### 単位の修得状況

1)～4)の各科目について、単位を修得した科目の評価を記入してください。

#### 1) 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

中一種（数学）、高一種（数学）、高一種（情報）

教育職員免許法施行規則 に定める科目区分等	授業科目	配当年次	単位数		備考	評価
			必修	選択		
日本国憲法	日本国憲法	1	2			
体育	体育実技Ⅰ	1		1	3科目から 2単位以上を修得	
	体育実技Ⅱ	1		1		
	健康学	1		2		
外国語コミュニケーション	英語Ⅰ	1	2			
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	数理、データ活用及び人工知能に関する科目			2		
	情報機器の操作					

## 2) 教科及び教科の指導法に関する科目

中一種（数学）、高一種（数学）

教育職員免許法施行規則 に定める科目区分等		授業科目	配当年次	単位数		備考	評価	
科目区分	各科目に含めること が必要な事項			必修	選択			
教科 及 び 教 科 の 指 導 法 に 関 す る 科 目	教科 に 関 す る 専 門 的 事 項	代数学	線形代数Ⅰ	1	2	必修単位 を含め20 単位以上 修得する こと		
			線形代数Ⅱ	1	2			
			線形計画法	2			2	
			離散数学	3			2	
		幾何学	幾何学入門	1	2			
			コンピュータグラフィックス	3			2	
		解析学	微分積分Ⅰ	1	2			
			微分積分Ⅱ	1	2			
			微分方程式・フーリエ解析	2			2	
			制御工学	3			2	
		「確率論・ 統計学」	確率統計	2	2			
			シミュレーション工学	2			2	
	コンピュータ	アルゴリズム論	2	2				
		数値解析	3		2			
		パターン認識	2		2			
	各教科の指導法（情 報通信技術の活用を 含む。）	数学科教育法Ⅰ*	2		2	*中学校教 諭一種免許 状（数学） を取得する 場合には必 修		
		数学科教育法Ⅱ*	2		2			
		数学科教育法Ⅲ	3	2				
		数学科教育法Ⅳ	3	2				

## 高一種（情報）

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		授業科目	配当年次	単位数		備考	評価
科目区分	各科目に含めることが必要な事項			必修	選択		
教科及び教科の指導法に関する科目	情報社会（職業に関する内容を含む。）・情報倫理	ヒューマンインタフェース	2	2		必修単位を含め20単位以上修得すること	
		情報と社会	1	2			
		情報セキュリティ	2		2		
	コンピュータ・情報処理	計算機アーキテクチャ	2	2			
		アルゴリズム論	2	2			
		論理設計	3		2		
		パターン認識	3		2		
	情報システム	データベースシステム	2	2			
		ソフトウェア工学	3		2		
		オペレーティングシステム	2		2		
	情報通信ネットワーク	情報ネットワーク	2	2			
		ネットワークコンピューティング	3		2		
		組込みシステム	3		2		
	マルチメディア表現・マルチメディア技術	メディア情報学	2	2			
		メディア表現技術	3		2		
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	情報科教育法Ⅰ	2・3	2			
		情報科教育法Ⅱ	2・3	2			

## 3) 教育の基礎的理解に関する科目等

中一種（数学）、高一種（数学）、高一種（情報）

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			授業科目	配当年次	単位数		備考	評価
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数			必修	選択		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	2	教育原理	1	2			
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	2	教職論	3	2			
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	2	教育制度論	2	2			
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	2	教育心理学	1	2			
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	1	特別支援教育	3	1			
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	2	教育課程論	2	2			
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	中 10 高 8	道徳教育の指導法	2	2		中一種免のみ必修	
	総合的な学習（探究）の時間の指導法		2	1				
	特別活動の指導法		2	1				
	教育の方法及び技術		2	2				
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法							
	生徒指導の理論及び方法		3	2				
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法							
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		3	2				
教育実践に関する科目	教育実習	中 5 高 3	教育実習指導	3・4	1	2	中免取得者はいずれか選択必修	
			教育実習Ⅰ	3・4	2			
			教育実習Ⅱ	3・4				
	学校体験活動		学校体験活動	3		2		
	教職実践演習	2	教職実践演習（中・高）	4	2			

## 4) 大学が独自に設定する科目

中一種（数学）

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	授業科目	配当年次	単位数	備考	評価
大学が独自に設定する科目	人工知能	1	2		
	(修得した科目を記載)				
	(修得した科目を記載)				

「大学が独自に設定する科目」の選択科目（人工知能）、最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」または「教育実践に関する科目」について、併せて4単位以上を修得すること。

高一種（数学）、高一種（情報）

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	授業科目	配当年次	単位数	備考	評価
大学が独自に設定する科目	道徳教育の指導法	1	2		
	人工知能	1	2		
	(修得した科目を記載)				
	(修得した科目を記載)				
	(修得した科目を記載)				
	(修得した科目を記載)				
	(修得した科目を記載)				

「大学が独自に設定する科目」の選択科目（人工知能、道徳教育の指導法）、最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」または「教育実践に関する科目」について、併せて12単位以上を修得すること。

## ○教員のコメント

年月日	内容	記入者

## ○個人面談等の記録

年月日	内容	記入者

## 自己評価シート

### 1) 必要な資質・能力に関する自己評価

必要な資質能力の指標			自己評価	自己評価	自己評価
項目	項目	指標	2年次	2年次	3年次
学校教育についての理解	教職の意義	教職の意義や教員の役割、職務内容、子どもに対する責務を理解していますか。			
	教育の理念・教育史・思想の理解	教育の理念、教育に関する歴史・思想についての基礎理論・知識を習得していますか。			
	学校教育の社会的・制度的・経営的理解	学校教育の社会的・制度的・経営的理解に必要な基礎理論・知識を習得していますか。			
子どもについての理解	心理・発達論的な子ども理解	子ども理解のために必要な心理・発達論的基礎知識を習得していますか。			
	学習集団の形成	学習集団形成に必要な基礎理論・知識を習得していますか。			
	子どもの状況に応じた対応	いじめ、不登校、特別支援教育など、個々の子どもの特性や状況に応じた対応の方法を理解していますか。			
他者との協力	他者意見の受容	他者の意見やアドバイスに耳を傾け、理解や協力を得て課題に取り組むことができますか。			
	保護者・地域との連携協力	保護者や地域との連携・協力の重要性を理解していますか。			
	共同授業実施	他者と共同して授業を企画・運営・展開することができますか。			
	他者との連携・協力	集団において、他者と協力して課題に取り組むことができますか。			
	役割遂行	集団において、率先して自らの役割を見つけたり、与えられた役割をきちんとこなすことができますか。			
コミュニケーション	発達段階に対応したコミュニケーション	子どもたちの発達段階を考慮して、適切に接することができますか。			
	子どもに対する態度	気軽に子どもと顔を合わせたり、相談に乗ったりするなど、親しみを持った態度で接することができますか。			
	公平・受容的態度	子どもの声を真摯に受け止め、公平で受容的な態度で接することができますか。			
	社会人としての基本	挨拶、言葉遣い、服装、他の人への接し方など、社会人としての基本的な事項が身についていますか。			
教科・教育課程に関する基礎知識・技能	教科教育	これまで履修した教科教育分野の科目の内容について理解していますか。			
	教科書・学習指導要領	教科書や学習指導要領の内容を理解していますか。			
	教育課程の構成に関する基礎理論・知識	教育課程の編成に関する基礎理論・知識を習得していますか。			
	道徳教育・特別活動	道徳教育・特別活動の指導法や内容に関する基礎理論・知識を習得していますか。			
	総合的な学習	「総合的な学習の時間」の指導法や内容に			

	の時間	関する基礎理論・知識を習得していますか。			
	情報機器の活用	情報教育機器の活用に係る基礎理論・知識を習得していますか。			
	学習指導法	学習指導法に係る基礎理論・知識を習得していますか。			
教育実践	教材分析能力	教材を分析することができますか。			
	授業構想力	教材研究を生かした社会科の授業を構想し、子どもの反応を想定した指導案としてまとめることができますか。			
	教材開発力	教科書にある題材や単元等に応じた教材・資料を開発・作成することができますか。			
	授業展開力	子どもの反応を生かし、皆で協力しながら授業を展開することができますか。			
	表現技術	板書や発問、的確な話し方など授業を行う上での基本的な表現の技術を身に付けていますか。			
	学級経営力	学級経営案を作成することができますか。			
課題探究	課題認識と探究心	自己の課題を認識し、その解決にむけて、学び続ける姿勢を持っていますか。			
	教育時事問題	いじめ、不登校、特別支援教育などの学校教育に関する新たな課題に関心を持ち、自分なりに意見を持つことができますか。			

## 2) 教職を目指す上で課題と考えている事項

教職科目（教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目、教科及び教科の指導法に関する科目、教育の基礎的理解に関する科目）のこれまでの履修状況や上記の自己評価を踏まえて、自分の課題とする事項及び内容、及びその解決に向けての抱負や方策について簡潔にまとめるようにしてください。

年次	課題事項・内容及び課題克服に向けて
1	
2	
3	
4	

